



文化財マップ

山本校区
やまもと

山本校区の文化財

水縄山地から平野部へと広がる山本校区は、山の幸や湧き水に恵まれた校区です。校区内では、縄文時代のおまつりに使われた石棒が落間遺跡で採集され、土器や石器が兜山の山頂でも採集されているほか、弥生時代の土器などもたくさん採集されていて、早くから人々が暮らしていたようですが、遺跡の発掘が行われた例がまだ少ないため、詳しいことはまだよくわかっていません。

古墳時代になると、水縄山地の北麓にはたくさんの古墳が造られ、全国でも有数の古墳が集中する地域として知られていますが、山本校区もその一部で、昔はたくさんの古墳がありました。これらの古墳を作った人々の集落はまだ発見されておらず、暮らしの様子は不明です。

山地の上から校区を見下ろすと、水田が基盤の目のようにきれいに並んでいるのがわかります。これは奈良・平安時代に行われた条里制と呼ばれる土地の区画法の名残で、「八ノエ」「十ノエ」などの字名も条里制に由来しています。

当時、山本校区は山本郡の一部で、観興寺・千光寺・永勝寺・老松神社など、今も信仰を集めるお寺や神社はこの頃に創建されたと伝えられ、不光院遺跡では古代の観興寺に關係すると考えられる溝が発見されました。

平安時代の終わり頃から鎌倉・室町時代には、草野氏がこの地を支配していました。南北朝の争いの時には、水縄山地が南朝方の前線基地となって、耳納山城・谷山城などの山城が築かれ、たびたび合戦の舞台となったようで、南朝方の征西將軍宮懐良親王や菊池氏、北朝方の今川了俊に関する伝承も残っています。また、千光寺は懐良親王の陵墓と伝えられる墓所があるなど、南朝方とゆかりの深い寺ですが、草野氏が寄進した梵鐘には北朝方の年号が記されており、当時の複雑な政治情勢がうかがわれます。

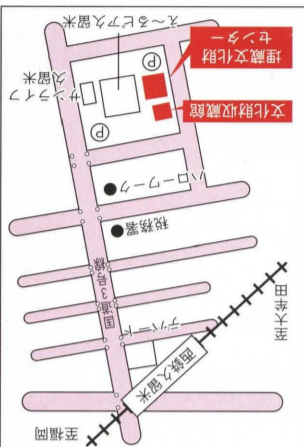
古代に創建された寺社は草野氏の手厚い保護を受けて繁栄していましたが、相次ぐ戦国時代の争乱や、天正16年(1588)に草野氏が滅亡したことによって、寺社も衰微しています。

江戸時代になると、筑後一国を治めた田中氏や、その後、久留米藩主となった有馬氏によって寺社の一部は復興し、山本校区は筑後国と豊後国を結ぶ山辺往還の街道にそった農村風景が広がっていました。山辺往還に沿った豊田地区には、当時の御井郡と山本郡の境を示す郡境標が残っています。

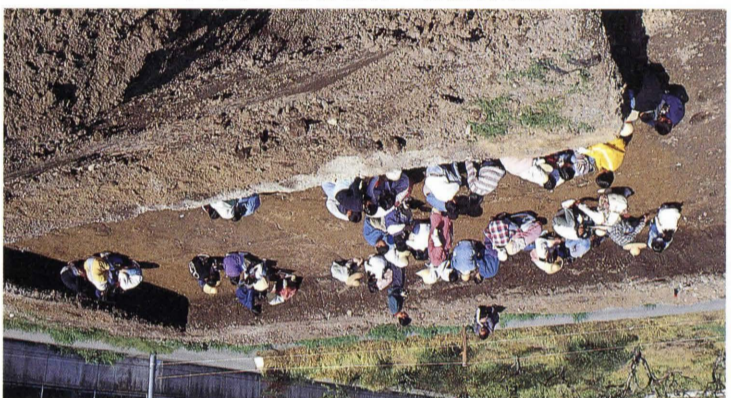
毎年晩秋に鮮やかな紅葉を見せる櫓の木は、もともと実から搾った成分をロウソクの原料とするため植えられたものです。ロウソクは石油ランプや電灯がなかったころには高価な明かりで、赤字財政に苦しむ久留米藩は特産品として栽培を奨励し、かつては藩内各地に見られました。柳坂曾根の櫓並木はその面影を残す貴重なものです。

こんなにあるぞ！山本校区の文化財

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	山本郡条里	平安～鎌倉	田んぼや畑を基盤の目のように区画して整備した、古代の耕地整理の跡が現代の地形にも見られます。
2	推定される古代の山辺道	奈良～平安	筑後国から豊後国(今の大分県)に向かう道が、このルートに推定されます。
3	大浦古墳	古墳	円墳が1基あったようですが、現在は失われています。
4	大浦宝篋印塔	中世	
5	前田A遺跡	奈良・平安	土器などが採集されています。
6	前田3号墳	古墳	朱塗りの石棺2基がありましたが、今は消滅しています。
7	西丈クラブ古墳群	古墳	4基の古墳が確認されています。
8	前田古墳群	古墳	石棺2基などがあったようですが、詳しいことは不明です。
9	前田B遺跡		土器などが散布する場所と伝えられています。
10	塚原遺跡	古墳～平安	古墳1基のほか、古代の瓦などが採集されています。
11	馬場遺跡	古墳	古墳2基が確認されています。
12	大屋敷遺跡	古墳・室町	土器などが採集されています。
13	大屋敷古墳群	古墳・室町	円墳1基と中世の火葬墓が確認されています。
14	本谷古墳群	古墳	円墳2基が確認されています。
15	東丈クラブ古墳	古墳	円墳1基が確認されています。
16	小寺西山古墳群	古墳	7基の古墳が確認されています。
17	平原古墳群	古墳	2基の古墳がありましたが消滅し、いまは石碑が建てられています。
18	浦畑古墳群	古墳	3基の古墳が確認されています。
19	塔の本古墳	古墳	直径15mほどの古墳が確認されています。
20	天神塚古墳	古墳	直径15mほどの古墳が確認されています。
21	正福寺遺跡	奈良～鎌倉	お寺の跡と考えられています。
22	正福寺山古墳群	古墳	古墳3基が確認されています。
23	本谷遺跡	古墳～平安	土器などが採集されています。
24	永勝寺境内遺跡	奈良～鎌倉	古い瓦や、お経を埋めた筒などが見つかりました。
25	谷山城跡	南北朝	懐良親王や菊池氏など南朝方の拠点となった山城と伝えられ、平坦地や切り通しがあります。
26	兜山西遺跡	不明	土器などが採集されています。
27	兜山墳墓	中世	人骨の入った壺などが見つかりました。
28	兜山遺跡	縄文	縄文土器や黒曜石が採集されています。
29	東山古墳	古墳	古墳2基が確認されています。
30	伝懐良親王陵墓	室町?	石棺3基が見つかりました。



不光院遺跡の体験発掘の様子



久留米市埋蔵文化財センターのご案内

《文化財に関するお問い合わせ先》
 久留米市教育委員会 文化財保護課
 久留米市城南町15-3 (市役所16階)
 ☎0942-30-9225 ☎0942-30-9718
 E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp
 久留米市埋蔵文化財センター
 久留米市諏訪野町1830-6(えーるピア敷地内)
 ☎0942-34-4995 ☎0942-34-5045
 (表紙) 柳坂曾根の櫓並木 (県指定)
 山本校区の文化財マップ
 発行: 久留米市教育委員会
 編集: 教育文化財保護課
 平成15年3月31日

市内の遺跡から出土した土器や、図面・写真などの記録を収蔵・整理・研究するため、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、企画展として『ふるさとの歴史とふれあう展』や毎年春には『文化財フェスタ』、秋には『考古資料展』を開催し、合わせて体験学習や現地説明会・スライド映写会など盛りだくさんの企画を行っています。

歴史に興味のある方もない方も気軽にお越しください。開館時間: 午前9時～午後5時
 休館日: 土・日・祝祭日・年末年始
 入館料: 無料